

【当初・冷却塔一次冷却水戻り配管からの冷却水漏れ】 【第1報】

- 発生日時：令和6年(2024年)12月13日(金) 8時30分頃（施設巡回点検時に異常を確認した時間）
- 発生場所：当初施設 冷却塔一次冷却水戻り配管(屋外) （非管理区域）
- 公表区分：Ⅲ
 - ・環境への影響：なし
 - ・作業員への影響：なし

事 象 概 要	発 生 原 因	再発防止対策
・ 運転会社の施設巡回点検時に、当初施設冷却塔の一次冷却水戻り配管の旧温度計取付部（現在は使用していない）に氷柱が垂れ下がっていることを確認。当該箇所から冷却水漏れが推測されたため、設備保全委託会社に調査を依頼。当該箇所周辺の保温材を取り外し調査したところ旧温度計取付部根元付近からの冷却水漏れを確認した。 なお、本件による冷却水温度の上昇、処理設備への影響は認められなかった。 ・ 旧温度計取付部周辺に垂れ下がっていた氷柱の大きさは、長さ0.7m程度×幅0.1m程度×厚さ0.1m程度（配管南側）+長さ1m程度×幅0.1m程度×厚さ0.1m程度（配管北側）＝0.017m³程度、一次冷却水の漏洩量は約17L（氷柱の大きさから推測）であった。 ・ 冷却水は工業用水であり、PCB等の有害物質は含まれておらず、周辺環境への影響はない。	・ 経年劣化により旧温度計取付部根元の溶接箇所に腐食が発生したと推測。 （腐食を進行させた原因について調査中）	(1) 緊急的に次の措置を実施 ① セメントパテで漏洩箇所を修復するとともに、その上からゴムバンドを巻き付けた。この修復により冷却水の漏れが止まったことを確認した後、旧温度計取付部全体を金属製のキャップで蔽い、配管に溶接して密閉した。（12/13実施済み） ② 屋外配管の点検強化。現在、当初施設・増設施設で行っている屋外配管の目視点検頻度を1日1回から1日2回に変更し実施している。 (2) 再発防止対策 検討中（屋外配管の総点検に着手。）

設備・状況写真

